

染色体 G-Banding		P000029		
		担当部署		
G-band		病理		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→分野別→染色体→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		採取後 1 日以上経過したもの		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		疾患診断時		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 新鮮組織（未固定）	H00	RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリン Na 炭酸水素 Na HEPES	5×5×5	mm
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		冷蔵		
検体受入不可基準		オーダーがない。		
保管検体の保存期間		保存不可。 受託可能日は月～金曜日で採取後速やかに提出		
<b>検査結果・報告</b>				

検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		9～16 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		図式化し報告				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		染色体分染法とは染色体標本に種々の処理を行い、染色体上に縞模様（バンド）を表出させ、染色体分析する方法の総称である。現在最も一般的に用いられているのは、バンドパターンの詳細な検討が可能な G 分染法（G-banding）である。種々の前処理後ギムザ（Giemsa）染色を施す方法。臨床検査法提要改定第 34 版 1211				